

No.	ページ	見出し(ページ)	担当課	意見	市の考え方	計画へ反映する	計画へ反映済み	今後の参考とする	計画へ反映しない	その他
1		全体	企画課	アルファベットやカタカナ表記について、市民がわかりやすいように注釈をつけるべき。	わかりやすくするため、注釈を全体的に入れました。	○				
2		全体	企画課	市民ワークショップの意見をもっと反映させるべき	市民のニーズを把握し、計画策定に取り組みました。今後も、ニーズを把握し、市民が主役のまちづくりに取り組んでいきます。		○			
3	3	位置と地勢	企画課	位置図に、熊本西環状道路についても入れたほうがよい。	位置図について変更しました。	○				
4	4	歴史	都市計画課	「南部地区は市街化区域となり」と記載があるが、市街化区域が全体の何パーセントにあたるのか表記したほうが市民にわかりやすい。	市街化区域の変遷を記載しました。	○				
5	11	本市の課題	企画課	箇条書きにするなどして、読みやすい工夫をしたほうがよい。	小見出しを入れて見やすくしました	○				
6	15~18	政策の概要	企画課	(1)自治の健康 第2次基本構想第2期基本計画における記述『情報は市民共有の財産である』との認識のもと積極的な情報公開に努め、行政改革大綱に沿った改善、改革への取り組みで、より一層の透明性、信頼性のある市政運営をめざします。』の部分が省かれた理由がわからない。	「情報は市民共有の財産である」との認識のもと積極的な情報公開に努め、市民ニーズを適切に把握し、デジタル技術の活用等を進めながら、行政サービスの改善、改革に取り組み、透明性、信頼性のある市政運営をめざします。」と変更しました。	○				
7	基本計画全体		企画課	DXマーク、市民提案のマークについては説明がないためわからない	説明を入れました。	○				
8	20	政策横断的重要課題	企画課	課題が、どの施策が通じるものなのか、施策番号を記載すべき	施策の枠にとらわれずに全庁横断的課題として取り組むものとして掲げているため、それぞれの課題がどの施策に該当するものかは記載せず、課題解決に取り組んでまいります。				○	
9	20	政策横断重要課題	企画課	多文化共生が重要となってくるため、重要課題として取り組み、写真等も計画書に積極的に掲載していくほうがよい。	多文化共生社会の実現のために、どのような課題やニーズがあるのか把握し、多文化共生社会の実現に向け取り組んでまいります。多文化共生社会をイメージできるような写真については、掲載します。			○		
10	20	政策横断的重要課題	企画課	政策横断的重要課題の大きなテーマとして掲げられている「創造的挑戦による地域共生社会の実現」について、創造的挑戦という語彙が強く感じられるため、創造的発想と変更してはどうか。	これまでにない、変革を遂げようとしている中、これまでの政策立案・推進の枠組みにとらわれることなく4年間挑み続けていくというテーマを掲げながらも、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。				○	
11	25~26	市民参画によるまちづくりの推進	企画課	自治基本条例の推進の課題>条例が市民に認知されていないのは事実だと思うが、普段意識していなくても自治基本条例の考え方がすべての基本にあることを周知することが重要だと考える。 市政等への参加促進>選挙の投票率だけでなく、他にも各種公募委員になるとか、自治会の活動から市全体のまちづくりへと広げていくなど、さまざまな参画の仕方があるのではないかと。 「市政方針、個別の支援制度やイベント等の事業について、市民等に広く分かりやすく発信する」とあるが、それ以前の流れや議論、状況や環境の変化等の説明があつて初めて、市民の理解が得られると考える。「市政について市民に直接説明する機会のあり方を検討」することは必要だが、何をどう説明するかというときに、市民が日常的に市政に関する情報に触れることがさらに重要であるという認識を示すべきではないか。	自治基本条例は、本市の自治の最高規範とされており、今後も周知し、認知されていくよう取り組んでまいります。 「市政等への参画促進」については、選挙管理委員会が推進する事業について記載したものです。タイトルを「投票率の向上」と変更しました。 市民が日常的に市政の情報に触れることが市民参画に繋がるとの認識で、その重要性を踏まえた上で、情報発信強化・広聴の推進について記載しております。市民が日常的に市政に関する情報に触れられるよう、情報発信に努めてまいります。					○
12	27~28	行政経営の推進・改革	企画課	デジタル庁のデジタル改革共創プラットフォームへの参加の検討について記載すべき。	「国や県のDX推進支援制度の活用」に含まれるものと認識しており、参加に向けた検討を行ってまいります。		○			

No.	ページ	見出し(ページ)	担当課	意見	市の考え方	計画へ反映する	計画へ反映済み	今後の参考とする	計画へ反映しない	その他
13	29~30	持続可能な財政運営	財政課	自主財源の確保の課題>企業版ふるさと納税は令和6年度限りとなっているので、ここに例示するのはどうか。	6年度で制度終了となった場合でも、寄付いただいた企業とは市の課題解決や施策実行などにおいて、引き続き連携していきたいと考えていることから、「対策・取組」にその旨追記します。	○				
14	33~24	地域福祉の推進	福祉課	地域の支え合う力、地域を支える人々には区や自治会等も含まれるのではないかと。施策1「市民参画によるまちづくりの推進」の中の「地域内の各種活動への参加促進」とも密接に関係すると思われる。総合計画としてはその結びつきを明示しておくべきではないかと。	区や自治会は関係団体等に含んでいます。それぞれの施策は結び付いていますので、明示はしていませんが、結び付いた取り組みをまいります。		○			
15	35~36	こども・子育て支援の充実	健康づくり推進課	施策の評価指標と目標値について、産婦・2ヶ月訪問数の合算理由は、指標とするなら別々になるのではないかと。	2ヶ月児とその母親の訪問を同時に行っているため、このような指標としております。					○
16	37~38	こども・子育て支援の充実	子育て支援課	保留児童対策について記載がない。	子ども・子育て支援事業計画に基づき体制の整備に努めますという記載については、保育の受け皿のほかに、放課後児童クラブの受け皿やその他子育て支援事業にかかる量を見込み、その確保方を定めて体制を整備していくことを指しています。また、保育の受け皿確保については、保留児童の解消のみではなく、今後の人口増に伴う保育需要を見込んだ受け皿の確保を進めていくこととしており、保留児童対策について含むものです。		○			
17	35~36	こども・子育て支援の充実	子育て支援課	介護と育児を同時にするダブルケアラーについての支援体制について記載がない。	施策4 地域福祉の推進 「だれでも気軽に相談できる環境づくり」の中で「既存の支援のみでは対応が困難で複雑なケース(社会的孤立、ダブルケア等)」として記載しております。		○			
18	39~40	高齢者の自立と支援体制の充実	高齢者支援課	身寄りのない高齢者の不安を少しでも払拭する終活の支援について記載したほうがよい。	事業としては、施策7高齢者の自立と支援体制の充実の地域包括ケアシステムの更なる深化・推進の中に含まれるものです。第9期合志市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の中で、高齢者の生きがいづくりの一つとして終活講座の開催について記載する予定です。		○			
19	41~42	障がい者(児)の自立と社会参加の促進	福祉課	施策の評価指標と目標値について ●一般就労が良いとするような目標値が適切なのか。 ●なぜ、前回から変更しているのか、訪問系サービスの実利用者数、日中活動系サービス実利用者数、相談支援の実利用者数等の指標が適切と思われる。 ●障がいのある子の親等の交流の場の実績が、0だが、既にあるのではないかと。	・障害者の自立と社会参加への支援という観点から施策の評価指数と目標値の見直しを行い、指標を「日中活動系サービスの実利用者数」とします。 ・障がいのある子の親等の交流の場の実績は、市が主体的に実施した件数が0であることから実績を0としています。	○				

No.	ページ	見出し(ページ)	担当課	意見	市の考え方	計画へ反映する	計画へ反映済み	今後の参考とする	計画へ反映しない	その他
20	45~46	義務教育の充実	学校教育課	<p>施策の評価指標と目標値について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いじめ暴力等~の相談した件数が下がることを目標値としているが、相談件数があること自体は、重要であり、目標としての設定は不適切ではないか。 ●指標の提案として、英検の受験補助金、働き方改革を鑑み、市内中学3年生における英検3級相当以上の生徒の割合や、1ヶ月の超過在校時間が45時間以内の教職員の割合にしてはどうか。 	<p>●学校でのいじめや暴力等の問題行動の状況については、毎月、学校から報告を受けて市教育委員会として全て実態を把握しています。</p> <p>そのうえで、学校だけでは解決が困難な事案や、問題が悪化することが懸念される事案等について、学校から口頭で報告や相談を受けた件数を評価指標として計上しています。</p> <p>学校の相談を受けた市教育委員会は、学校と連携しながら継続的な支援を行うことで、問題の悪化を防止するとともに、解決を図ってきています。そのことが重大事態の防止につながっているものと捉えているため、学校だけでは解決が困難な事案や、問題が悪化することが懸念される事案等の報告・相談件数が下がることは望ましいとした評価指標としております。</p> <p>●ご提案のあった市内中学3年生における英検3級相当以上の生徒の割合については、指標としては限定的なため、現在の標準学力調査に係る児童・生徒の総合学力の平均値が指標として適当であると考えております。</p> <p>●教職員の勤務時間外の業務時間については、合志市立小・中学校管理規則第28条の2第2項に規定する勤務時間を超えることのないよう各学校の実績値と目標値を教育委員会としても把握しています。しかしながら、施策の評価指標としては現在設定しているものがより適当であると考えております。</p>				○	
21	47~48	生涯学習の推進	生涯学習課	<p>施策の評価指標と目標値について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●参加者がいない講座の開催が成果として含まれる多文化交流関連講座の開催数ではなく講座参加人数が、指標として適当ではないか。 ●1人が多く借りる冊数も成果として含まれる貸出本の冊数ではなく、利用者数が、指標として適当ではないか。 	<p>●多文化交流関連講座を開催することは、国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的差異を認め合い、地域社会の構成員として共に生きていける社会を実現させるために重要である取り組みです。多文化交流関連講座の開催数の指標については、適当であると認識しております。</p> <p>●貸出本の冊数から、本の貸出者数に変更しました。</p>	○				
22	57~58	防災・危機管理対策の推進	安全安心課	<p>予測や防止、避難などについて、気象防災アドバイザーの活用について、記載したほうがよい。地域防災計画の見直しや市民向けの防災講座に携わっており、職員の防災人材育成、さらに住民の防災意識の向上にもつながる。</p>	<p>市民の生命、身体若しくは財産に重大な被害が生じ、又は生ずるおそれのある災害その他の緊急事態への対処並びにその発生及び拡大の防止に関する体制の確立を図るため”防災対策監”を設置しており、防災に関する様々な役割を担っています。気象防災アドバイザーの活用については今後、研究していきます。</p>			○		
23	61~62	住環境の充実	下水道課	<p>道路雨水排水機能の強化について、具体的に何をやっていくのかわからない。</p>	<p>下水道課で所管する雨水対策については、浸水想定区域を作成する中で具体的な方針を決定し、優先順位を付けながら浸水対策を進めていきます。</p>		○			
24	61~62	住環境の充実	都市計画課	<p>施策の評価指標と目標値について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人口一人当たりの公園面積 実績値と目標値が変わらない目標が適切なのか。 ●人口が増えているのが前提かと思うが、補足数値が必要ではないか。 	<p>都市公園法施行令（第1条の2）で人口一人当たりの公園面積10㎡と定められており、今後も人口増加が予想される中、公園面積は住宅地の開発等により変化していくことが予想され、今回の指標・目標を設定しております。</p>				○	
25	63~64	水の保全・安定供給	水道課 下水道課	<p>施策の評価指標と目標値について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●上水道施設の故障は、様々な条件下で起こり得るし、実績としても1→0を目標値が適切か疑問。 ●現状を踏まえ、上水道の水質基準の達成100としてはどうか。 ●繰出金の実績と目標の数値が変わらないのは目標にならないのではないか。 	<p>●安全安心な水の安定供給のため、断水や水質基準に異常がないことを目標としており、指標や目標値として適切と考えております。</p> <p>上水道の水質検査についても同様です。ご意見については、今後の検討事項とさせていただきます。</p> <p>●老朽化が進む下水道施設においては、今後改築・更新に多額の費用を準備する必要がありますが、企業会計として経営の健全化を図りながら繰入額の上限として目標値に設定しております。</p>			○		

No.	ページ	見出し(ページ)	担当課	意見	市の考え方	計画へ反映する	計画へ反映済み	今後の参考とする	計画へ反映しない	その他
26	65~66	廃棄物の抑制とリサイクルの推進	環境衛生課	今後ソーラーパネルの寿命で廃棄が増えると思われるが、有害物質が含まれており不法投棄や不適切な処分による環境汚染とならない為の対策について記載すべき。資源循環を促進するための制度や施設の整備について記載すべき。	ソーラーパネルの多くは県所管の産業廃棄物に該当するため、市の計画への記載は行っていません。市民への啓発などは、引き続き県と連携を取りながら行ってまいります。					○
27	67~68	脱炭素・地球温暖化対策の推進	環境衛生課	施策の評価指標と目標値について ●市内の再生可能エネルギーの導入件数→太陽光発電等の導入件数の方が解りやすいのではないかと。	「太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入件数」に変更しました。	○				
28	67~68	脱炭素・地球温暖化対策の推進	環境衛生課	夜間に不法に物を燃やす事業所がある際の対応や、高齢化に伴い大人用紙おむつの利用が今後増加することを踏まえ、紙おむつのリサイクルの普及に向けた事業者の取組の支援について記載したほうがよいのではないかと。	廃棄物の抑制とリサイクルの推進にも該当するものとして認識しています。いただいたご意見は今後の事業検討の際に考慮してまいります。			○		
29	75~76	公共交通の充実	企画課	施策の評価指標と目標値は、レターバス利用者数より、乗車率の方が、指標として解りやすいのではないかと。	コミュニティ交通の認知度を向上させ、公共交通の利用に繋げていくための指標ですので、「利用者数」が適当であると考えます。				○	
30	75~76	公共交通の充実	企画課	高齢者、障がい者が利用しやすいように乗降場所の検討をすべき。	乗降場所の検討も路線の見直しに含まれるものと認識しております。いただいたご意見は今後の施策や事業検討の際に考慮してまいります。		○			
31	81~82	商工・観光業の振興	農政課 商工振興課	対策、取組みに新規就農者支援があるので、新規認定農業者数を指標としてはどうか。担い手への農地集積率を指標としてはどうか。P82 観光客はどうやって測っているのか。	本市農業全体に関することになりますので、農業の中心的な担い手である認定農業者数や生産農業所得等を指標といたしました。いただいたご意見は今後の計画策定等の際に検討してまいります。観光客については、観光庁が導入している観光入込客統計に関する共通基準に従い、調査を実施しています。			○		
32	81~82	商工・観光業の振興	商工振興課	中小企業・小規模事業者への支援>課題の中で、観光資源が少ないと決めつけていることが大きな問題。数少ない観光資源を磨き上げるとか、表現の仕方があると思う。そもそも「観光資源」とは何かを研究するところから始めることを対策・取組にすべきである。	観光資源について、地域に光るものが少なからずあると認識しています。いただいたご意見を踏まえ、観光資源とは何かを振り返りつつ、地域内外に誇れるものとなるよう、また、発信できるようあらためて取り組んでまいります。			○		
33	83~84	企業誘致の促進と働く場の確保	商工振興課	●P84 新規企業立地数少なすぎるのでは?年間に1企業ということか?	指標が、年間の目標値とわかるように「新規企業立地数(年間)」に変更しました。また、目標値ですが、地域経済の活性化と雇用の創出を目的として企業誘致を推進するにあたり、企業誘致の受け皿となる用地が不足しているため、企業からの新規立地ニーズに応えることができない課題があります。企業立地促進と農業振興との両立のバランスを図りながら、計画的な市営工業団地の整備などにより、毎年1社の企業誘致を目指し、企業誘致を推進してまいります。新規企業立地の実績は、H25~R4の10年間で10社となっております。	○				